

# 市議団速報

e-mail:info@jcp-niigata-shigidan.com NO.195

2018年1月23日  
日本共産党  
新潟市議会議員団  
電話 025-226-3450  
FAX 025-223-7748



米山隆一知事(右端)に予算要望書を手渡す日本共産党市議団

## 市議団が米山知事に2018年度の予算要望 広域型特養ホームの改築補助創設、新潟水俣病認定基準 の見直し、子ども医療費助成への県補助復活などを求める

日本共産党新潟市議団は1月17日、米山隆一知事に2018年度県予算についての要望を行いました。渡辺有子議員、五十嵐完二議員、飯塚孝子議員、倉茂政樹議員、平あや子議員が参加しました(野本孝子議員は県外で不在)。

市議団は、①建設後30年以上経過し老朽化が進んだ広域型特養ホームの改築に対する補助制度の創設②新潟水俣病行政訴訟で「水俣病の可能性が50%を超えるなら認定すべ

き」だとした東京高裁判決に基づいて認定審査を行い、国に認定基準の見直しを働きかけること③新潟市の子ども医療費助成への県補助金の復活などを求めました。

米山知事は「特養の運営は改修も入ってくるので大変だ。何ができるか検討させてもらいたい」「新潟水俣病の高裁判決は画期的だ。基本的には判決を尊重する」などと答えました。



### 市議団が大雪で市に要請 生活道路の除雪早く

新潟市中心部で8年ぶりに積雪が80センチを超え、市民生活に大きな支障をきたしていることから、日本共産党市議団は15日、新潟市に大雪に関する申し入れを行いました。渡辺有子、五十嵐完二、飯塚孝子、平あや子の4市議が参加しました。

申し入れは、①いまだに除雪が進まない地域生活道路をはじめ道路除雪に万全を期す②通学路をはじめ歩道の除雪に万全を期す③運休となっているバス路線



大雪問題で市に申し入れる日本共産党市議団(1月15日)

の除排雪を進め、早期に運行をはかる④公共施設の駐車場の除雪に万全を期す⑤高齢者相談窓口を全区に設置し、テレビなどで周知をはかる⑥農業、商店街の被害の把握に努め、復旧のための必要な支援を行う⑦の6項目です。

市議団は「議員団にも、何で除雪が進まないのか苦情が寄せられている。幹線だけでなく、生活道路全般に対応してもらいたい」「西区で除雪中に女性が死亡する事故もあった。一人世帯は雪が解けるのを待つしかない。孤立させないために相談窓口を」と訴えました。市は「除雪委託業者には担当区域に限らず、区をまたぎ連携して除雪してもらっている。申し入れを踏まえ、鋭意努力していきたい」と答えました。

### 議員団の日程

- 24日(水) 主権者教育・高志中等教育学校
- 24日(水)~25日(木)  
党全県議員研修会
- 26日(金) 政務活動費検討委員会  
市議団会議
- 28日(日) 市民アクション@新潟の集会
- 29日(月)~30日(火)  
全国市町村議会議員研修会



市に署名を提出する「新潟市の国保をよくする会」の代表

**国保料引き下げ答申へ**  
新潟市の国保運営協議会は18日、2018年度の国民健康保険料について「引き下げとなるように検討すべき」との答申案をまとめました。25日に篠田市長に答申します。答申に沿って改定されれば、引き下げは1992年以来26年ぶりとなります。しかし、運営協議会に示された保険年金課の改定案では、加入者が40歳から64歳の世帯では年1200円程度の引き下げにすぎません。新潟市の国保をよくする会は22日、第一次分の署名5200筆余りを市に提出し、保険料のさらなる引き下げを求めました。申し入れには、五十嵐完二議員、飯塚孝子議員、野本孝子議員、平あや子議員が同席しました。